

## 調査書記入の手引

## A 生徒

「男・女」及び「卒業見込み・卒業」は、どちらか一方を消すこと。

## B 出欠・健康の記録

- 1 卒業見込者の第3学年の出席状況は、平成18年12月末日以降で、調査書作成委員会が定めた期日までの日数を記入すること。
- 2 欠席日数は、出席しなければならない日数（出席停止・忌引等の日数を除いた数）のうちで、欠席した日数を記入すること。
- 3 備考欄には、病欠、事故欠等の主な理由、早退、遅刻の状況や事情等を記入すること。また、第3学年については、1により調査書作成委員会が定めた期日を記入すること。
- 4 健康の状況欄には、高等学校の修学に堪えるかどうかの判断を記入すること。

## C 各教科の学習の記録

- 1 評定は、第1学年及び第2学年は、指導要録記載の必修教科（共通履修としての英語を含む。）の評定を転記するとともに、指導要録記載の選択教科の評定も転記すること。  
第3学年については、第1の5の(2)に規定するところにより記入すること。  
なお、履修していない選択教科の欄には、斜線を引くこと。
- 2 備考欄には、次のような事項を記入すること。
  - (1) 選択教科に関して特に説明を要する事項
  - (2) 教科、学年による著しい差異に説明を要する事項
  - (3) 健康状況、体力及び身体上の障害によって学習に影響が及んでいると思われる事項
  - (4) 志願者が目標に準拠した評価による評定が不可能な生徒である場合の説明事項
  - (5) その他特に説明を要する事項
- 3 中学校卒業後の学習の状況の欄には、過年度卒業生（高等学校を最終在籍校とする者を除く。）について、学習、進歩の状況等の観点から卒業後の学習の状況を記入すること。

## D 総合的な学習の時間の記録

総合的な学習の時間の主な学習活動や評価等を記入し、該当する学年を括弧書きで付記すること。

## E 特別活動の記録

学級活動、生徒会活動及び学校行事の活動状況について、主な事実を記入し、該当する学年を括弧書きで付記すること。

## F 行動の記録

- 1 第3学年について、掲げられた項目ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合に○印を記入すること。
- 2 過年度卒業生で旧生徒指導要録に従う場合は、括弧書きの項目とそれ以外の該当する項目に評定し、不要な項目は消すこと。また、学校独自に設定した項目については、空欄に項目を括弧書きで記入し評定すること。

## G 総合所見及び指導上参考となる諸事項

CからFまでの記録の他、進路指導に関する事項、指導上参考となる事項及び生徒の成長にかかわる総合的な所見を記入すること。

## H その他

- 1 学習成績一覧表番号欄には、学習成績一覧表の該当する番号を記入すること。
- 2 調査書作成委員氏名欄には、教頭が代表して記名押印すること。
- 3 記載事項のない欄には「なし」と記入するか、斜線を引くこと。
- 4 調査書の記入は、その信頼性及び客観性を高めるため、特に正確を期すること。

(様式第4号) (第1-第5関係)

(用紙寸法 A4)

学校長

印

年度卒業 (見込み)		学 習 成 績 一 覧 表									
		学校 ( 枚 中 枚 )									
番号	教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 ・ 家庭	英語	備考
	性別										

- (注) 1 第1の5の(4)の規定によって作成すること。  
 2 番号欄には1から順に算用数字を記入すること。  
 3 様式第5号の集計表を添付すること。

年度卒業(見込み) 学習成績一覧表(段階別人員集計表) 中学校										
教科 評定段階	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	英語	備考
5										
4										
3										
2										
1										
評定平均値										
合計人員										
目標に準拠した評価による 評定が不可能な生徒数										名

- (注)
- 1 学習成績一覧表記載の教科別、評定段階別の人数(目標に準拠した評価による評定が不可能な生徒数を除く。)を記入すること。
  - 2 評定平均値は、各教科とも小数第二位を四捨五入して、小数第一位まで求めること。
  - 3 目標に準拠した評価方法以外の評価方法による評定の場合は、この様式に準じて作成すること。

(様式第6号) (第2-第5関係)

受付年月日

(前期選抜・後期選抜・再募集・追加募集)

受付番号

※

# 入 学 願 書

※

平成 年 月 日

長野県 高等学校長 殿

志願者

保護者



貴校に入学を志願します。

\* (志願承認番号 第 号)

志望 課程	全日 定時	志望 学科 ・部	科・部		第2	科・部	判 定	※
			科・部					
志 願 者					保 護 者			
ふりがな			男・女	昭和 平成	年	氏 名	志願者との関係	
氏 名				月	日生			
現住所	〒 —				現住所	〒 —		
出 身 中学校	平成 年 月		中学校 卒業見込み・卒業					

(この欄は再募集、追加募集に限り記入すること)

後期選抜志望校 高等学校 制 科 受検番号

志願者連絡先 電話 ( ) —

\* 所属・隣接通学区以外の高等学校志願承認及び長野県立高等学校志願承認を受けている志願者は承認番号(「県内第〇〇号」又は「県外第△△号」)を記入すること。

\* 多部制単位制高校においては、志望課程は、定時制とし、志望する部を志望学科の欄に記入すること。

(様式第7号) (第2関係)

(用紙寸法 A4)

前期選抜入学志願者受付台帳

合否	受検番号	氏名	性別	出身中学校	卒業年月	志望学科	面接	作文 (小論文)	実技検査	備考

(様式第8号) (第2-第5関係)

(前期選抜・後期選抜・再募集・追加募集)			
受 検 票			
受検番号	*	志 望 課 程	全 日 制 定 時 制
志望学科	科		
氏 名			
受 検 場	高 等 学 校		
出 身 中 学 校	中 学 校		
長野県		高等学校長 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">印</span>	

\* 多部制単位制高校においては、志望課程は定時制とし、志望する部を志望学科の欄に記入すること。

(様式第9号) (第2関係)

(用紙寸法 A4)

前 期 選 抜 合 格 通 知 書	
	年 月 日
中学校名 受検番号 氏 名	様
	長野県 高等学校長 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">印</span>
<p>あなたは、平成 年度前期選抜において合格し、本校 制の課程 科の入学予定者に内定しましたので通知します。</p> <p>ついては、 月 日 ( ) 正午までに入学確約書を提出してください。</p>	
<p>(注意) 1 指定の期日までに入学確約書を提出しない場合は、入学を辞退したものとみな します。</p> <p>2 入学確約書の提出後は、後期選抜、再募集及び追加募集への出願はできません。</p>	



(様式第11号) (第2関係)

(用紙寸法 A4)

入 学 確 約 書

年 月 日

長野県

高等学校長 殿

中学校名

受検番号

氏 名

保護者氏名

印

本人との関係

この度、平成 年度前期選抜において、

貴校 制課程の 科の入学予定者に内定した旨の

通知を受けました。

ついては、貴校に入学することを、本人及び保護者連署の上、ここに確約いたします。



(様式第12号) (第3関係)

(用紙寸法 A4)

後期選抜入学志願者受付台帳

合否	受検番号	氏名	性別	出身中学校	卒業年月	志望学科	学力検査					その他の検査			備考
							国語	社会	数学	理科	英語	面接	作文 (小論文)	実技 検査	

(備考) 傾斜配点を実施する場合各教科の得点の表記は上段に100点満点の得点を、下段の ( ) 内に傾斜配点による得点を表記する。

(様式第13号) (第3関係)

(用紙寸法 A4)

志望学校(課程・学科)変更願

平成 年 月 日

長野県 高等学校長 殿

志願者氏名

保護者氏名 印

下記のとおり志望学校(課程・学科)を変更させていただきます。

記

(志望変更先)

長野県 高等学校 課程 科

上記のことについて了承しております。

中学校

学校長

印

(注) 志望学校(課程・学科)については、不要な文字を消してください。

(様式第14号) (第3関係)

(用紙寸法 A4)

## 志望学校変更証明書

年 月 日

長野県 高等学校長 様

本校(全日制・定時制)課程の 科を志願していた1の者は、2のとおり  
貴校の(課程・学科)へ志望を変更した者であることを証明します。

## 1 志願者

(1) 中学校名

(2) 志願者氏名

## 2 志望変更先

(1) 課程名

(2) 学科名

長野県

高等学校長

印

(注) (全日制・定時制)、(課程・学科)については、不要な文字を消してください。

高校教育チーム